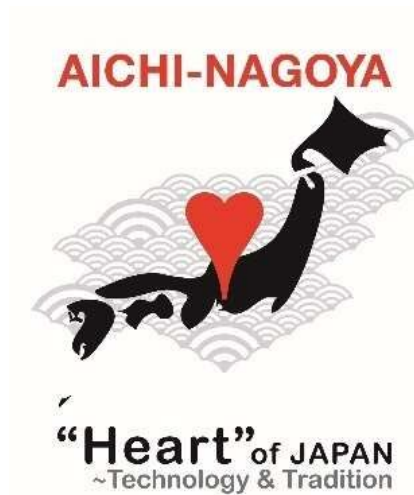


愛知県政記者クラブ同時



2024年12月5日(木)
愛知県観光コンベンション局
国際観光コンベンション課

担当 小笠原、井上

内線 3373、3372

ダイヤルイン 052-954-6373

名古屋市総務局総合調整部
総合調整課

担当 池田、鶴田

ダイヤルイン 052-972-2221

名古屋市観光文化交流局観光交流部
MICE推進課

担当 柴田、小西

ダイヤルイン 052-972-2426

第60回アジア開発銀行年次総会を誘致します！

愛知県と名古屋市は、2027年開催予定の「第60回アジア開発銀行年次総会」について、愛知・名古屋での開催に向けて、誘致を表明します。

この年次総会は、本年5月に、財務大臣が日本への誘致を表明し、現在、開催を希望する地方公共団体を募集しております。

あわせて、今後、地域を挙げた誘致活動を展開することを目的として、経済界とともに「誘致推進協議会」を設立し、国への要請を行います。(詳細は、後日、お知らせします。)

1 「第60回アジア開発銀行年次総会」について

(1) 会議名称

第60回アジア開発銀行年次総会

(2) 開催年

2027年

(3) 開催会場(想定)

名古屋国際会議場(名古屋市熱田区熱田西町1-1)及び名古屋市内ホテル

- アジア開発銀行(Asian Development Bank: ADB)は、アジア・太平洋地域における経済成長及び経済協力を助長し、開発途上加盟国の経済発展に貢献することを目的に1966年に設立。69(アジア・太平洋地域内49、地域外20)の国・地域が加盟。
- 年次総会は、加盟する国・地域の財務大臣及び中央銀行総裁が年に一度会合し、アジア・太平洋地域が直面する開発上の問題や課題について議論する場。例年5月上旬に開催され、3,000~5,000人程度が参加。

2 愛知・名古屋で開催する意義について

- 開催により、大規模な経済波及効果や、国際的知名度、都市ブランドの向上につながる。
- 会議参加者と地元関係者の交流を通じて当地域とアジア各国の経済的な結びつきの強化につながる。
- 2026年に開催されるアジア競技大会・アジアパラ競技大会から2027年の同年次総会につなげることで、アジアや世界の交流拠点として、当地域の機能が一層高まる。

《参考》

1 アジア開発銀行年次総会の日本開催地について

回数	開催年	開催地
創 立	1966 年	東京
第 20 回	1987 年	大阪
第 30 回	1997 年	福岡
第 40 回	2007 年	京都
第 50 回	2017 年	横浜
第 60 回	2027 年	公募中（日本）

2 開催候補地の募集について

- 2024年5月5日に、鈴木財務大臣（当時）が、2027年の第60回年次総会の日本への誘致を表明。
- 10月21日に、財務省は、開催を希望する地方公共団体の募集を開始（12月6日まで）。地方公共団体から応募があれば、総会開催に当たっての要件を満たしているか審査し、一つの開催候補地に絞った上で、ADBに推薦。